

2023

3/3 (金)

18:30~

(開場 18:00)

おおぶ文化交流の杜
allobu こもれびホール

料金：無料

但し事務手数料100円/枚が必要

全席指定 (限定147席)

チケット発売日 1/11 (水)

こもれび寄席

アローブミニ寄席

Thank God it's Friday.

TGIF

ちよっとステキな金曜日

登龍亭獅籠

桂りようば

笑学生落語クラブ

【チケット取扱い】

- おおぶ文化交流の杜allobu 総合案内カウンター
(9:00 ~ 20:00) ※電話予約不可
- おおぶ文化交流の杜allobu オンラインチケットサービス
(発売初日10:00 ~) ※未就学児の入場はご遠慮ください

※購入済みのチケットの交換・再発行及び払い戻し

(公演中止・延期の場合を除く) はできません。

※車椅子席をご希望の方は 2/10 (金) までに
allobu 総合案内カウンターに直接ご予約ください。

※託児サービス (本公演チケットをご購入された方の申込に限ります)
3ヶ月~未就学児対象 子ども1人につき500円 2/27 (月) までに
ネットワーク大府 (0562-85-7028) へお申込みください。(先着順)

●新型コロナウイルス感染症対策について

咳エチケット、マスクの着用、手洗い、手指の消毒、検温にご協力をお願いします。体調不良の方、発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合は
ご来場をお控えください。新型コロナウイルス感染拡大状況により、公演を中止または延期する場合がございます。

主催：allobu おおぶ文化交流の杜・大府市

お問い合わせ：おおぶ文化交流の杜allobu

大府市柵山町六丁目150-1 TEL.0562 - 48 - 5155

企画・運営：



おおぶの杜育み隊

オンラインチケットサービスはこちらから▶



Thank God it's Friday.

TGIF

ちよっとステキな金曜日

TGIFは お仕事・学校帰りの方やコンサートビギナーの方が気軽に楽しめる週末のミニコンサート・ミニ寄席です。

登龍亭獅箆（とうりゅうていしかご）

1971年静岡県浜松市生まれ。1994年立川流（立川談志門下）入門、立川志加吾（たてかわしかご）と命名される。2003年雷門小福門下移籍、雷門獅箆（かみなりもんしかご）と改名。2020年、120年ぶりに「登龍亭」の亭号を復活させ、登龍亭獅箆（とうりゅうていしかご）と改名、登龍亭一門家元となる。東海地区に演芸を広めるために結成された伝統芸能5人による「海演隊」リーダー。また、1999年週刊モーニングにて漫画家デビューを果たし世界唯一の落語家+漫画家となる。登龍亭獅箆のSANQイブニング・RADIO SANQなどに出演しながら、東京新聞・朝日新聞・読売新聞・毎日新聞、各社連載を持ち「雷とマンダラ」など多数の著書も出版。名古屋文化短期大学非常勤講師も務めている。古典落語、新作落語、名古屋落語、持ちネタは100席以上。



桂 りょうば（かつら りょうば）

2015年 桂ざこばに入門する。2016年 1月 動楽亭「昼席」にて初舞台。同年 8月に1年という早さで年季明けをし、2017年4月東京で第一回「桂りょうば落語会」を開催する。現在、定期的に大阪、東京で勉強会を開催中。趣味は 料理、昭和史研究、航空・鉄道全般。特技はドラムとギター。<桂りょうばよりコメント>「幼少のころから落語が周りにある環境におかれながらも、高校時代から音楽と芝居にドップリとつかってしまい落語を忘却の彼方へ追いやってしまう。その後、お芝居やロックバンド、チラシ作成、上京、白塗り学ランバンド、結婚、映像編集、フォークバンド、司会、トークイベントを経験。43才でざこば門下へ入門。あまりにも遅すぎるスタートですすでに崖っぷち。人生回り道を体現する男、それが桂りょうば、私でございます」



笑学生落語クラブ（しょうがくせいらくごくらぶ）

大府市の文化事業落語教室「大府の笑学校」卒業生が「卒業後も落語を続けたい」という気持ちから平成18年10月に結成し、現在まで受け継がれている。稽古日は毎月第3日曜日。大府市森岡公民館にて子ども達は自主的に練習し、互いにアドバイスしあいながら落語を仕上げ、福祉施設や地域のお祭り、学校などで落語を披露。落語の稽古、発表を通じて落語の楽しさに触れ、福祉施設訪問等により世代間、地域を越えた人との交流を図りコミュニケーションの楽しさも学んでいる。保護者も活動・運営に関わり、子どもの個性を大切にして想像力で作り上げていく落語の世界の素晴らしさと子どもの持つ力に感動しながら日々励んでいる。



こもれび寄席

●みどころ
噺家は衣装や舞台装置を使わず、セリフや所作など噺家の技巧でいろいろな情景を見せてくれます。その映像を聞き手（お客様）が頭の中で描くことで落語の奥深さが一段と深まります。
噺家の目の動きや表情も非常に重要です。まばたきのタイミングひとつで場面の緊張感を演出したり、空気を変えたり。演者と聞き手によって話の世界がどんどん広がっていきます。どうぞ生の落語「こもれび寄席」にぜひお運びください。

[アクセス]

電車 名古屋駅よりJR東海道本線新快速で大府駅まで約14分
JR大府駅または共和駅より大府市循環バス（ふれあいバス）にて「おおぶ文化交流の杜」下車（1乗車100円）またはタクシーで約10分

車 名四国道23号「共和IC」より約15分 知多半島道路「大府東海IC」より約10分
※駐車場の収容台数には限りがあります。

おおぶ文化交流の杜allobu 〒474-0053 愛知県大府市柁山町六丁目150-1 TEL.0562-48-5155

